

EB 装置が機能していない状態で走行した事象について

2022 年 12 月 15 日、琵琶湖線において EB 装置が機能していない状態で走行させる事象が発生しました。ご利用のお客様にはご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。

1. 発 生 日 時

2022 年 12 月 15 日（木） 3 時 45 分頃

2. 場 所

琵琶湖線（東海道本線） 野洲 ～ 守山 駅間

3. 列 車 名

下り寝台特急電車 「サンライズ瀬戸・出雲号」 14 両編成
東京（12／14 21：50 発） 高 松（12／15 7：27）行
出雲市（12／15 9：58）行

ご乗車のお客様：約 110 名

4. 概 況

12 月 15 日（木）3 時 45 分頃、当該列車の運転士は、野洲～守山駅間走行中、EB 装置（※）のブザー音が鳴動しないことに気付いたため停車し、大阪指令所に連絡しました。その後、当該列車の車掌を運転士の保安要員とし、4 時 04 分に運転再開しました。

詳細に調査を行ったところ、当該列車の EB 装置が機能していなかったことが判明しました。

※ご乗車中のお客様にお怪我はありませんでした。

※「EB 装置（緊急列車停止装置）」とは、保安装置のひとつで、運転士 が運転機器操作を 60 秒間行わなかった場合にブザーが鳴動し、さらに 5 秒間何もしなければ自動的に非常ブレーキが作動する装置です。

5. 列 車 影 響

<運 休>なし

<遅 れ>当該列車のみ 19 分の遅れ

<影響人員>約 110 人

6. 原 因

EB 装置へ車両の速度を伝達するコネクタに、接続不良があったためです。